



朝晩の寒さが身に染みる季節になってまいりました。

みなさま風邪などひかれてないでしょうか？

今回は日頃診察で耳にする用語を改めてご説明させていただきたいと思います

AHI(Apnea Hypopnea Index)=無呼吸低呼吸指数 のこと

この指数によって睡眠時無呼吸の重症度を分類します

睡眠1時間あたりの無呼吸低呼吸の回数を示します(健常人は通常5未満)

30以上だと重症に分類されます

リーク=いわゆる空気漏れ

原因はマスクがホースにきちんと接続されていなかったり、マスクのクッションが外れかかっているなど

フルフェイスタイプのマスクや、横向き就寝時に多くなる傾向があります

一定量を超えなければ問題ない場合もあります



SAS=睡眠時無呼吸症候群

睡眠中に10秒以上の呼吸が停止(無呼吸)もしくは低呼吸が1時間に5回以上繰り返される病気
主に、いびきや昼間の眠気、頭痛などの症状があります

生活習慣病と密接に関係しており、放置すると生命の危険に及ぶこともあります

SASの眠気は交通事故を起こす危険もあり適切な治療を継続することが大切です

(一口メモ) CPAPは循環器病の治療？

CPAPをいびきのみの治療と思っていませんか？そのようなお話をよくききます

決してそうではありません

日中の眠気はもちろん、高血圧や心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病の合併リスクは健常人の2~4倍
むしろどちらの治療といっても過言ではありません

冬場のホースの結露対策

CPAPからの送風がホース内で冷やされ、その風が水滴としてマスクの内側に付着
水滴がおちてくることがあります

対策として、ヒーターなどで室温の低下を防いだり、ホースをタオルや布でくるんだり、布団の中に入れたりすると結露が防止できます



お願い

CPAP療法は健康保険の適応となるため、使用者の方には月に1回の受診をお願いしています。健康保険の適応が受けられない場合には、負担額は14,600円/月となりますので必ず受診していただきますようお願いいたします。

入院や長期旅行・出張などの為、受診ができない場合は当院受付へ連絡していただきますようお願いいたします。

連絡先

0944-72-3501(代表)

お気軽にご相談ください！

CPAPについて

「寝付きにくい」「風の圧に違和感がある」

・・・など、どんなことでも構いません。

来院いただいた際は、

12番窓口(検査科)または、医師・看護師・病院スタッフまで

お声かけください。

